

CATS

アンドリュー・ロイド・ウェバーの『キャッツ』は、ウエストエンドとブロードウェイの歴史上、最も長く上演されているショーのひとつです。1981年にロンドンのニュー・ロンドン・シアターで世界初演され、その後21年間、約9,000回の公演を重ね、記録的なロングランとなりました。トレバー・ナンの演出とジリアン・リンのミュージカル演出によるこの画期的な作品は、オリヴィエ賞とイブニング・スタンダード賞の最優秀ミュージカル賞を受賞しています。1983年のブロードウェイ公演では、最優秀ミュージカル賞を含むトニー賞7部門を受賞し、18年間にわたり上演された。

世界初演以来、「キャッツ」は30カ国以上で上演され、15カ国語に翻訳され、世界中で7300万人以上の人々に鑑賞されています。また、ブロードウェイのキャスト録音は、グラミー賞の最優秀キャストアルバム賞を受賞しています。

バーブラ・ストライサンド、ジョニー・マティス、リベラーチェ、バリー・マニロウなど150人以上のアーティストによって録音されたミュージカル界の至宝「メモリー」を含む壮大なミュージカル・スコア。

世界共通の魅力と、異なる年齢層のキャストによる拡張性により、劇場だけでなく、日本や韓国のテント劇場、スイスの機関庫、アメリカ各地の学校の体育館などでも上演されています。

日本での「キャッツ」

「キャッツ」は、1983年に東京・新宿の仮設劇場で、日本を代表する劇団「劇団四季」によって日本で初めて上演されました。

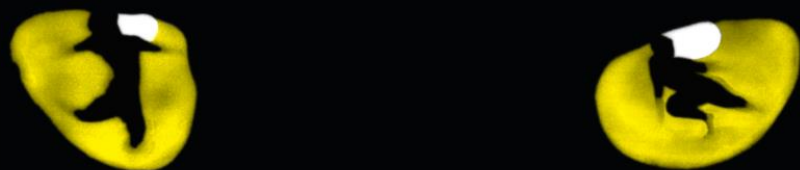
東京を皮切りに、大阪、名古屋、福岡、札幌、静岡、広島、横浜、仙台と全国で上演され、2019年3月に10,000回を達成しました。

驚異的なロングランは、ミュージカルから連想されるイメージを超えたオリジナリティと、世代を超えて愛され続ける日本のファン層にあります。

2023年、「キャッツ」は日本で40周年を迎えます。

ロゴマーク

キーアート



CATS

キーアート バリエーション

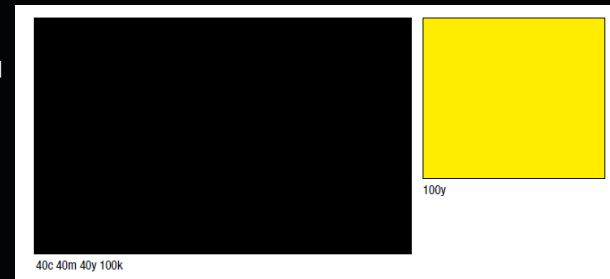
目は常に一緒に表示され、常に黄色/黒色でなければなりません。

タイトルと目は別々に使用してもよいが、一緒に使用する場合は、なるべくこの間隔で表示されるようにする。



主要フォントは
「Minion」と「Helvetica」

ブランドのキーカラーは
ブラック&イエロー。



著作権表示について

タイトルや目を使用する場合（一緒に、または個別に）、著作権表示をしなければなりません。可能であれば、製品自体に記載すべきですが、スペースがない場合は、パッケージに記載することも可能です。

「TM © 1981 The Really Useful Group Limited」

または、限られたスペースの場合

「TM © 1981 RUG Ltd」

キャラクター

可能であれば、キャラクターは常に「人間」の
キャッツで表現してください。

なお、キャラクター名の使用には別途承認が必要です。

シルエット



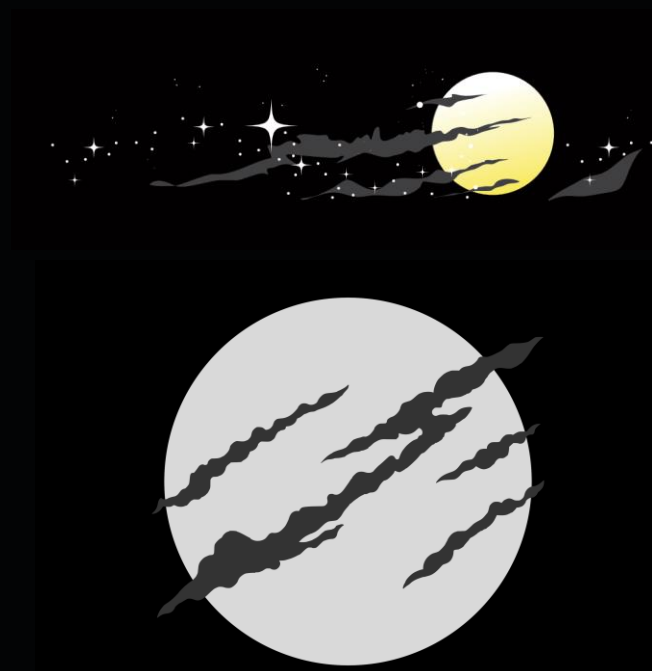
歪んだ形状（シル
エット、こんな効
果など）の場合
は、これらのキャ
ラクター画像のみ
使用可能です。



その他のアート

歌詞の使用には別途承認が必要です。

背景画像など



ボーダーと柄
(リカラー可能)



写真

ミュージカル作品から15枚の舞台写真を商品化することを許可されました。

写真クレジット: Alessandro Pinna



ブランドライセンスに関するお問い合わせ先
Japan Brand Licensing Enquiries

株式会社ZenWorks
担当者名：ロジャー・バーマン
Tel: 090-6003-7068
rmb@zenworks.jp

